

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

- 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に従って実施する。

### 2. 最終エントリーについて

- 最終エントリーは 2025 年 5 月 31 日（土）の 12 時 00 分から 6 月 1 日（日）8 時 00 分までの間に、メールにて icaak.rec@gmail.com まで最終エントリー用紙を送付すること。受信を確認後、返信をするので必ず確認すること。
- 最終エントリーの際に出場選手が 8 名に満たない場合はオープン参加とする。
- スタートリストは番組編成が終わり次第、関西学連 HP および X 上で発表する。

### 3. 招集について

- 招集時間は次の通りとする。

組	第 1 組	第 2 組	第 3 組	第 4 組
第 1 次招集	17:20-17:40	17:55-18:15	18:30-18:50	19:05-19:25
第 2 次招集	17:50	18:25	19:00	19:35

- 第 1 次招集は、1 階雨天走路に設ける招集所にて行う。ユニフォームと競技使用予定シューズの確認を受け、別アスリートビブスと腰ナンバーカード（右：シール式、左：チップ付）を受け取ること。
- 第 2 次招集は、1 階雨天走路内にて行う。
- 第 1 次招集、第 2 次招集には必ず選手本人が来ること。

### 4. 選考について

- 当日、欠場者あるいは途中棄権者が出了ことにより完走者が 8 名未満になった大学は、その時点で選考会に参加する権利を失う。なお、他の選手の 10000m の記録は認められる。

### 5. 競技者の服装について

- 同一大学は、事前に学連に提出したものと同一のデザインのユニフォームを着用すること。（デザインや配色が同一であれば、ユニフォームのタイプは統一しなくてもよい。）また、同一大学であると判断でき、商標規定を満たしたものであれば、タイツの着用を認める。
- 帽子やサングラス・アームウォーマーなどを着用する場合は、商標規定を満たしたものを使用すること。
- 別アスリートビブスは当日学連が配付するものを使用し、必ず胸部・背部に折り畳まずに明瞭に付けること。

## 第 57 回全日本大学駅伝対校選手権大会 関西学連出場校選考会

- 腰ナンバーカードは両腰に明瞭に付け、競技終了後直ちにゴール地点で左腰のチップ付腰ナンバーカードを必ず返却すること。なお、途中棄権などで競技を中止した場合も必ず返却すること。

### 6. 実施方法について

- 各組の大学別参加人数は 9. の表の通りとする。但し、誰がどの組で走るかは各大学で自由に決めることができる。
- 計時は、写真判定（0.01 秒）とする。但し、装置の故障などのトラブルが生じた場合、当該の組を手動計時（0.1 秒）とする。
- 各大学出場 10 名中上位 8 名の合計記録（0.01 秒）（手動計時の際は 0.1 秒）で順位を決定する。
- 各組、競技開始より 35 分が経過した時点で残り 1 周に達しなかった競技者は、その周のフィニッシュラインで競技を中止とする。
- 上記の方法で同記録の場合、第 86 回関西学生対校駅伝競走大会における上位校を上位とする。
- 救急搬送防止および選手の安全確保のため、関西学連役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議の上、レースを中止させる場合もある。その場合、必ず指示に従うこと。

### 7. 給水について

- 気象状況により給水を行う。

### 8. 開始時刻について

- 第 1 組（18 時 00 分スタート）以降の組については、前の組の競技終了後、随時スタートとする。

### 9. 各組の大学別参加人数について

- 各組の大学別参加人数は、以下の通りとする。参加大学の出場人数が 10 名に満たない場合は、大会本部で調整を行う。

	京産大	関学大	立命館大	大経大	関西大	同志社大	龍谷大	京都大	神戸大	大阪大	近畿大	摂南大
第 1 組 (30 名)	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
第 2 組 (30 名)	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
第 3 組 (30 名)	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3
第 4 組 (30 名)	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2

10. 競技の中止について

- 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。中止になった際の選考方法は、要項の 18. 選考会予備日を参照。

11. 競技場使用の注意について

- 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止とし、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。

12. その他

- 招集所で配布された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。
- 競技終了後は必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。
- 記録証明書の発行を希望する場合は、正面エントランスに設ける受付へ発行手数料 300 円を添えて申し込むこと。
- 選手の競技中の発病・負傷については、主催者側は応急処置以外の責任は負わない。ただし、2025 年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ处罚を与える。
- 大会期間中に不明な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟